

東京湾海況情報 22-02

東京湾水質調査結果（平成22年5月分）

平成22年5月19日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料: 東京湾水質調査(内湾:5/10(わかふさ)、内房:5/10(ふさみ丸)
神奈川県水産技術センター、東京都環境局
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は、内湾で18～20℃台、内房で17～19℃台を示し、内湾は平年よりやや高く、内房はほぼ平年並みでした。表層塩分は、全域で低く、特に袖ヶ浦から本牧を結ぶ線以北の海域では28以下とかなりの低塩分状態でした。

水温、塩分及び密度の鉛直分布から、内湾では成層化の傾向が、内房では中央部付近まで、表層部に内湾の低塩分の影響が達しているのが見られました。

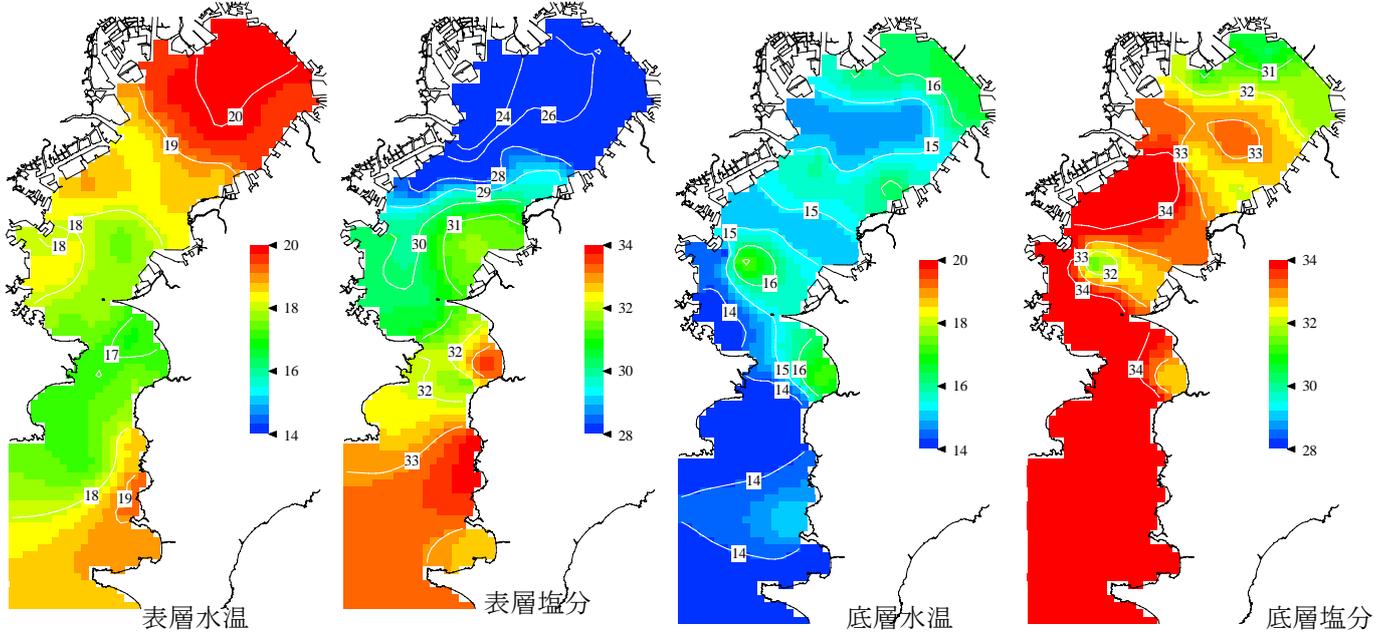


図1 水温と塩分の水平分布

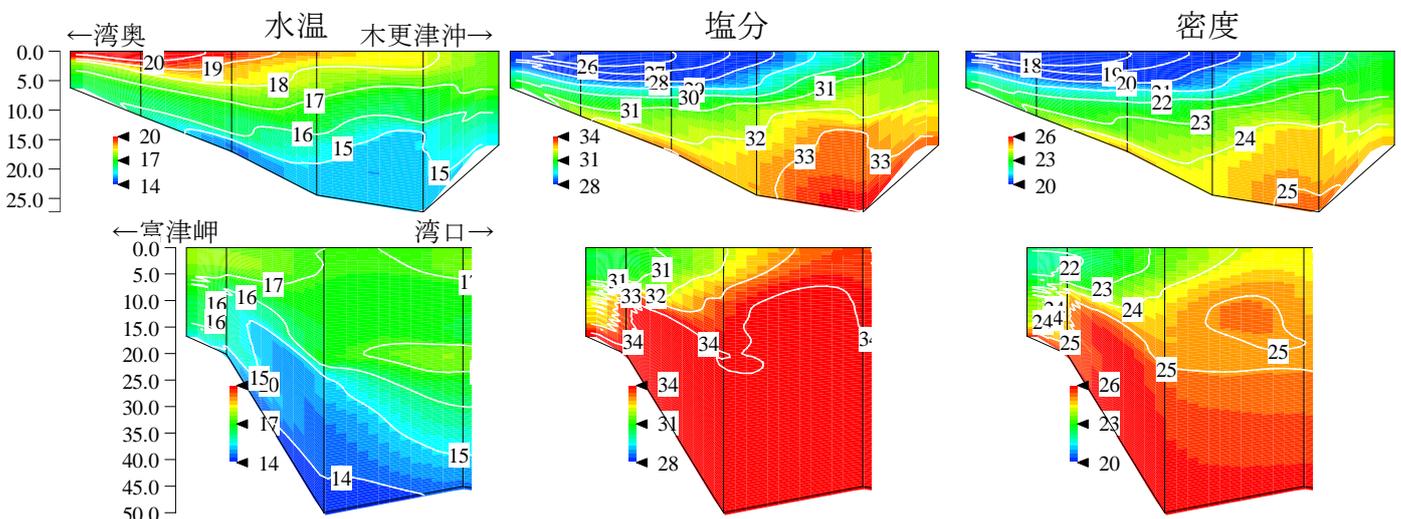


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

内湾は、ほぼ全域で透明度2m前後、pH8.6以上と赤潮状態でした。

プランクトンは内湾から内房北部で多く、特にアクアライン以北は非常に多く見られました。最優占種は、渦鞭毛藻のプロロセントルム (*Prorocentrum minimum*)で、次いで珪藻のリゾソレニア (*Rhizosolenia setigera*)が優占していました。

内湾北部海域では、ノクチルカ (*Noctiluca miliaris*: 夜光虫)も見られました。



図3 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、依然として全域で観測されませんが、成層化傾向が顕著になっていることから、今後の動向には注意が必要です。

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

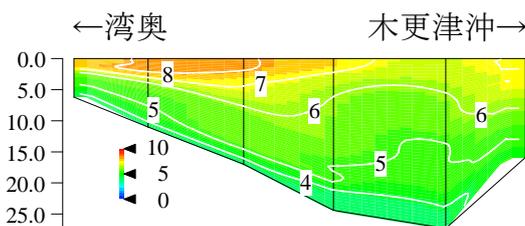
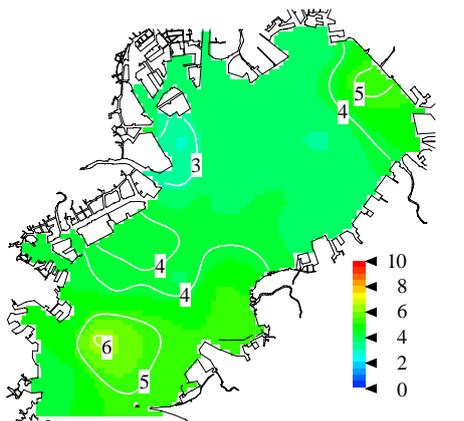


図4 内湾のDO (ml/L)

栄養塩類の状況(図5、表1)

DINは、アクアライン以北は300~1000 $\mu\text{g/L}$ 台、アクアライン以南から明鐘岬・剣崎を結ぶ線までは100~200 $\mu\text{g/L}$ 台、それ以南は100 $\mu\text{g/L}$ 以下でした。

PO₄-Pは、全域で20 $\mu\text{g/L}$ 以下でした。内湾北部で5 $\mu\text{g/L}$ を上回った他は、内湾南部で0~4 $\mu\text{g/L}$ 、内房で0~2 $\mu\text{g/L}$ でした。

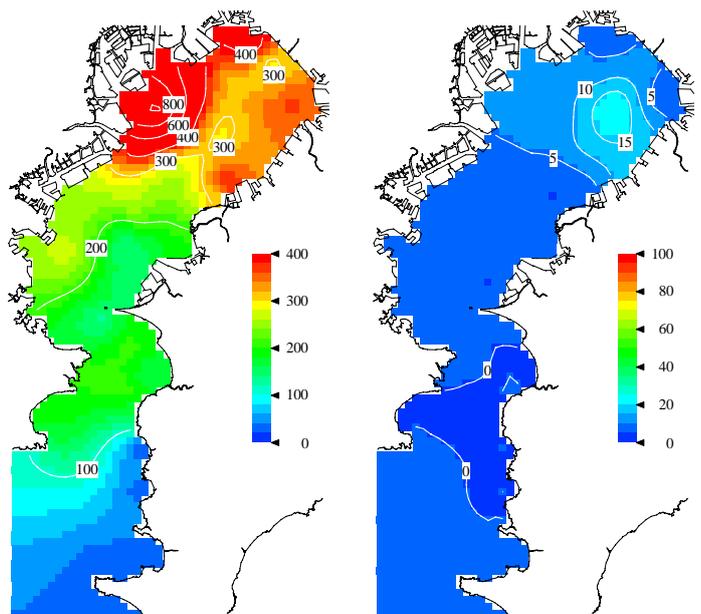


図5 表層の栄養塩類 (左:DIN, 右:PO₄-P 単位はいずれも $\mu\text{g/L}$)

黒潮の状況(図6)

黒潮は、C型流路をとり八丈島東沖で北進し、房総沖で向きを変え北東方向に流れています。

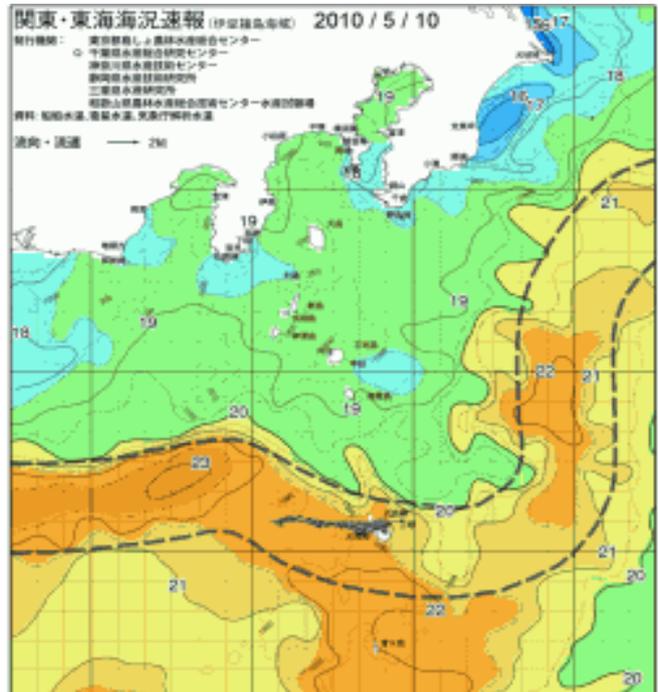


図6 黒潮の動き(5月10日)

表1 主な調査点の水質調査結果

調査年月日:平成22年5月10日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (μg/L)	リン酸 態リン (μg/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	クロロフィル a量 (μg/L)	
内湾海域	船橋	1.7 (2.3)	20.1 (18.9)	26.32 (28.64)	8.7 (8.4)	3.7 (4.9)	442 (397)	4 (21)	19 (57)	24.9
	st.15	1.3 (2.6)	20.8 (18.5)	25.70 (28.84)	8.7 (8.4)	3.6 (4.2)	316 (418)	7 (16)	24 (59)	20.1
	st.3	1.4 (3.1)	19.8 (18.0)	25.93 (29.50)	8.7 (8.4)	3.4 (2.7)	418 (386)	7 (19)	54 (88)	36.8
	st.6	1.5 (3.7)	18.8 (17.8)	27.45 (30.29)	8.7 (8.4)	3.6 (2.8)	344 (293)	5 (9)	44 (48)	24.6
	st.9	2.5 (4.1)	17.4 (17.3)	31.27 (31.19)	8.6 (8.3)	4.8 (4.1)	141 (281)	1 (7)	17 (39)	15.6
	盤洲Cブイ	2.2 (3.9)	18.7 (18.2)	29.14 (31.20)	8.6 (8.3)	3.6 (4.5)	370 (289)	4 (15)	21 (58)	10.1
	st.8 (盤洲Aブイ)	2.7 (4.9)	18.4 (17.6)	30.80 (31.44)	8.6 (8.2)	4.7 (3.7)	205 (271)	4 (12)	12 (52)	12.6
	富津ベタ	2.8 (4.7)	17.5 (16.9)	31.28 (32.13)	8.5 (8.3)	4.8 (4.6)	139 (241)	0 (10)	15 (42)	17.0
内房海域	第2海ほ下	2.5 (5.4)	17.8 (17.0)	30.34 (32.40)	8.5 (8.3)		126 (199)	1 (9)	11 (44)	—
	st.31	3.5 (6.7)	17.0 (17.1)	31.86 (32.59)	8.4 (8.3)		197 (181)	0 (6)	18 (32)	12.2
	st.23	3.5 (10.2)	17.4 (18.0)	33.39 (33.77)	8.3 (8.2)		76 (69)	0 (5)	4 (30)	8.9
	st.1	8.0 (13.0)	18.9 (18.2)	30.88 (34.05)	8.3 (8.2)		7 (56)	2 (3)	3 (21)	1.5
	st.10 (下洲沖)	4.5 (5.9)	16.8 (17.2)	31.85 (32.63)	8.3 (8.2)		196 (188)	0 (7)	8 (28)	
	st.12 (湊沖)	4.5 (5.7)	17.4 (17.3)	33.36 (32.78)	8.5 (8.2)		152 (165)	0 (6)	7 (31)	
	st.22 (保田沖)	4.5 (10.1)	18.7 (18.2)	33.82 (33.72)	8.4 (8.2)		9 (66)	0 (3)	5 (31)	
	st.24 (富山沖)	6.5 (9.8)	19.3 (18.1)	33.87 (33.91)	8.3 (8.2)		13 (53)	0 (3)	6 (21)	
st.26 (館山湾内)	8.0 (10.9)	19.0 (18.2)	32.46 (34.04)	8.3 (8.2)		9 (49)	2 (3)	5 (21)		

() : 過去10年間の平均値

※透明度, pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮, DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。